



とよみなみ

令和元年 10月31日
豊玉南小学校たより
令和元年度 11月号

感謝する心

副校長 彌永 英俊

校庭にたたきつける季節外れの大雨。数分のうちに本校の校庭が大きな水たまりのように・・・異常気象の影響による大雨や台風による被害。台風15号、19号、21号と立て続けに日本列島を襲い、各地に大きな被害をもたらしました。現在も多くの方々が避難生活を余儀なくされ、不自由な生活を送っています。被災された方々が1日でも早く暮らしと心の平穏を取り戻すことを切に願っています。

さて、10月5日(土)に行われた運動会。子供たちの頑張りや保護者・地域の皆様の支え、教職員の思いが一つになって、充実した運動会を行うことができました。6年生児童の運動会の振り返りには、運動会の成功を支えてくれた方々への感謝の気持ちが目立ちました。指導してくれた先生方へ、力を合わせて取り組んだ友達へ、自分を支え励ましてくれた家族へ、このように、たくさんの思いが集結して一つの行事が成功したことに気付けたことは大きな成果だと感じています。以前、落語家「柳家花緑さん」の講演を聞いた時のことを思い出しました。「みなさん、大人になるとは、どういうことか分かりますか。」・・・「それは、感謝する心をもつということです。」と花緑さんはおっしゃいました。その後、こう続けます。「では、感謝の言葉は『ありがとう』ですが、ありがとうの反対語を知っていますか。」頭をひねって考えましたが、その時の私には、答えが分かりませんでした。皆さんは、ご存じですか。「『ありがとう』の反対は『あたりまえ』」なるほど、子供のころ学校に通って勉強できることはあたりまえだと思っていました。しかし、今では学校という場所がいかにも多くの人々の思いや努力、支えによって成り立っているかということがよく分かるのです。あたりまえだと思っていることが、実は、様々な人たちの努力や支えによって成り立っており、それは感謝に値する。そのことに気づき感謝する心をもって生活することが大人になるということだと言うのです。

昨今の自然災害を例にとっても、これまででは考えられなかった事象が今後は起こりうるという「予測困難な社会の到来」がいたる所で語られています。そんな不安を目の当たりにしているからこそ、改めて身の回りのあたりまえを見つめ直し、感謝する心を養うことが、互いを尊重し合い、よりよいかかわりにつながるのだと考えています。今月はふれあい月間。学校では、友達とのよいかかわり方について指導し、子供たち自身に考えさせていきます。ご家庭や地域でも、折に触れて話題にさせていただければ幸いです。ご協力をお願いします。

11月の行事予定

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1日(金) 個人面談(全学年4時間授業) | 18日(月) 水曜時程(5時間授業) |
| 4日(月) 振替休日 | 19日(火) 避難訓練(休憩時) |
| 5日(火) 安全指導日 | 20日(水) 研究授業(3年) |
| 6日(水) 委員会活動(1~4年4時間授業) | ※該当学級以外4時間授業 |
| 8日(金) 展覧会 | 21日(木) 就学時健康診断(4時間授業) |
| 9日(土) 土曜公開 展覧会 | 22日(金) 作って遊ぼう集会(3・4校時) |
| 11日(月) 校区別協議会(5時間授業) | 補充教室 |
| 12日(火) クリーン運動① | 24日(日) ふれあい広場 |
| 14日(木) クリーン運動② | 25日(月) クラブ活動 |
| 15日(金) 中村小研究会(4時間授業) | 27日(水) 練馬区研究会(4時間授業) |